

# 時 の か け ら

浜名湖に漂う思い出と歴史

移動距離

およそ **20** km

浜名湖の守り神?

浜名湖の河口（現在の新居と推測）に祭られていた角避比古神社つのさくひこの御神体が明応7（1498）年の明応の大地震のとき津波で流され、村櫛を經由して、伊目の十三本松いめに漂着。その12年後、再び地震による大津波で、この御神体はさらに気賀の赤池へと流され、現在の細江神社境内（北区細江町）に牛頭天王社ごずてんのうしやとして祭られることになったという。地域では地震の神様としてもあがめられている。このほか湖周辺には漂着や村の移転などの伝承が多数ある。

MAP/A-4



一泊

**10** 円

伝説の  
高級ホテル

総工費40万円、一泊ひとり10円～、夕食2円（当時のボーイの月給10円）。昭和13（1938）年、弁天島乙女園に2年の歳月をかけ竣工。ぜいたくの粋を集めて運営された「浜名湖ホテル」だったが、政情不安とあまりの高級志向のため一年半で休業となる。その後、軍施設となり終戦後は廃屋となるも、昭和32（1957）年にプリンスホテルが買収して芦ノ湖畔に大移動。「龍宮殿」として復活し、現在も営業中。

MAP/D-3

ご来町

**9** 回

ロイヤルファミリー  
安息の地

皇太子ご一家が、初めて今の北区細江町を訪れたのは昭和43（1968）年のこと。前年の秋に浩宮さまがお一人で社会勉強にご来町されたのがきっかけ。ご一家はその後、昭和58（1983）年までの間、9回ご来町されている。ご遊泳やボート、地域住民とも交流され浜名湖の夏を楽しまれている。お泊まりになられた施設があったことから今の北区西気賀の五味半島は「プリンス岬」と命名された。

MAP/A-4



昭和52（1977）年7月、ご一家4年ぶりのご来町

**150** 年以上

いまだ残る公的酒場

西区村櫛町には、150年以上続く自治会が経営する公的酒場「村櫛酒販売所」がある。安政元（1854）年の安政地震の津波で壊滅的な打撃を受けた村櫛は、倹約のために飲酒を一切禁止。しかし、ヤミ酒が横行したため、一日一戸一合のみ販売する酒の専売所を設けた。それが公的酒場の前身という。以来、この酒場の利益は村づくりに使われながら現在に至り、地元の人や村櫛を訪ねた人が集まる寄り合い場となっている。

MAP/C-3

# 浜名湖美景ガイド

なにげなく見てきた浜名湖も、場所や時間を選んで見ると、今まで知らなかった風景に出会えるかも。数ある眺望ポイントから特におすすめを選んでご紹介します。

## 第1景 弁天島海浜公園



浜名湖は夕日が自慢。特に11月末から12月初旬は、夕日が弁天島観光シンボルトワーの間に沈んでゆく神々しい瞬間を味わえる。

MAP/D-3

## 第2景 今切口



浜名湖の歴史に深く関わってきた浜名湖と遠州灘を結ぶ今切口。現在は対岸までの幅がコンクリート護岸で200mに固定され、その上には雄大な浜名大橋が架かる。

MAP/D-3

## 第3景 浜名湖ガーデンパーク



常に手入れされた敷地内は、四季折々の草花を楽しめる。高さ50mの展望塔からの眺めは浜名湖を一望する360度の大パノラマ。

MAP/C-3

## 第4景 かんざんじ大草山展望台



季節の木々を眼下に、波静かな湖面は町並みと空を映し出す。時折、遊覧船やボートが、白い線を描いて走る。

MAP/B-4

## 第5景 東名高速浜名湖サービスエリア



浜名湖を行き交う遊覧船やヨットを眺めながら木陰のベンチでのんびりと。一帯は桜の木。春はもちろん、四季を通して自然に囲まれた憩いの空間。

MAP/A-3

## 第6景 天竜浜名湖鉄道浜名湖佐久米駅



浜名湖が目の前にある天竜浜名湖鉄道の駅。冬には、数百羽のカモメが餌を求めてプラットフォームにやって来る。餌は駅舎に併設する喫茶店で販売。

MAP/A-3

## 第7景 三ヶ日瀬戸



浜名湖と猪鼻湖の両方を眺められるエリア。瀬戸のつり橋から礫島が見える。遊覧船も運行しており、四季それぞれの奥浜名湖を楽しめる。

MAP/B-2

### 浜名湖の文学碑

ここで紹介する文学碑の他にも、浜名湖湖畔には、いにしへの歌人たちが浜名湖の情趣を詠んだ作品が碑となって多数残されています。

天の川  
濱名の橋の  
十字字  
正岡子規  
MAP/D-3

館山寺松山穂し  
湖を来て  
こは小春の  
入江ささなみ  
北原白秋  
MAP/B-3

月や風や  
夏しら波の海と湖  
松島十湖  
MAP/D-3

浜名湖の  
文学碑を  
訪ねてみよう

この他の文学碑は浜名湖歩き方MAPを参照してください。

# 浜名湖の歩き方 MAP

本誌で紹介している施設や場所です。浜名湖はこのほかにも魅力あるポイントがたくさんありますので、実際に歩いてみて発見があったら地図にどんどん書き入れてみましょう。

